

人は超異変異常は目前にしても認め難い、一時は恐怖が支配、だが人は一度共同危機認識に到達すると決死の決断実行に至る。これは将来危機に関し、重大知見を与えてる。現代世界は少数天上人が全人類命運を決めてる不条理がアル。然るにその対処とは

[1]地獄現場の証言：

福島原子力事故調査報告書（中間報告書）の概要

東京電力事故調査委員会 平成24年1月16日

http://www.naiic.jp/wp-content/uploads/2012/01/ik02_chosahoukoku_fix_rev4-1.pdf

—P80/85, **現場の声** (抜粋) —〈より詳しい全員証言を時系列的にでも編纂して下さい〉
福島原発津波破綻地獄現場証言を聞くと本質的な問題点とその解等が見える気がします。ぜひ皆様も独自解析を、今後の世情激変化対策に実用になります。

(1) 日常からの余りの異変で、目前にしても現実感がないという訴え.

- * 目の前で起こっていることが、ほんとうに現実なのかと思った。
- * 中操に戻ると真っ暗で、HPCI、RCIC のランプとDC 電源のランプしかついていない。現実味がなかった。本当に起きている事なのか？実感がわかなかった。
- * 揺れの最中から、アドレナリンが大量に出たのか恐怖感はあまりなく、妙に冷静だったような気がする。まるで夢の中の出来事のような。少なくともこの状態が2Fへ待避するまで続いた。

(2) 恐怖。

- * 手も足も出なかった時、何も出来ないから非常用の乾パンと水を取ってきて食べろと指示し、少しでも落ち着かせようとした。
- * 一部の人からここに残ってどうなるんですかという意見があり、他の人も口には出さないが同じような思いだったと思う。気分が悪くなって横になった人もいて、その人は今も（注：聞き取り時点）出社できない状況。
- * 中操内では、被ばく線量を下げるよう、当直員を1号側から2号側に寄らせてしゃがませた。11日の夜から明け方にかけて。主任級でも目を見て不安がわかった。
- * 爆発後、メンバーが体調不良で3人くらい横になって起きられないような状況だった。
- * 1号機水素爆発後にケーブルを引きなおしたが、3号機で水素爆発が起こった。メンバーは走って緊対室に戻ってきた。作業員はパニックだった。

(3) 極限現実を前の共同認識と決死の決断実行.

* 中操で3秒に0.01mSv (ずつ) 上がり始めて、(中操から) なかなか出れない時は、もうこれで終わりなんだと思った。

* 3号機がいつ爆発するか分からない状態であったが、次に交替で(中操に) 行かなければならなかった。本当に死を覚悟したため、郷里の親父に「俺にもしもの事が起きたら、かみさん、娘をよろしく」と伝えた。

* 【復旧作業での声 (ベント)】

○ ベントにいける人間を募った。比較的若い操作員も手を挙げた。涙が出る思いだった。当直長をそれぞれ割り振るように編成した。完全装備で線量が高い状況もわからない中に行かせるので、若い人は行かせなかった。

○ 3組目まで準備したのは、線量、体力や余震で引き戻すことなどを考えてのもの。同時に出発すると緊急避難時の救出ができない恐れがあるため、1チームずつ行くことを指示した。

○ 当直長の自分が現場に行きたいと思った。言葉にも出したが、同僚から「お前は最後まで指揮をとれ！」と言われた。頭が下がった。言葉もでなかった。申し訳ない思いでいっぱいだった。

○ (注水) 協力企業の社員さんが、社長からは戻るよう言われていたのに、我々みんなで何とか発電所を守るために一生懸命対応している姿を見て、「私は帰れない」と泣いて残ってくれた。直接社長に「もう少し残ってから戻る」と言ってくれていた。

[2] ; 世界緘口令の天上支配者秘密会合=ビルダバーグ=ナチス総司令部.

なぜ既成マスコミはビルダバーググループを無視するのか！

<http://www.nakalertpress.com/2012/05/31/why-does-the-mainstream-media-ignore-the-bilderberg-group/>

ナチスと英国皇室にも繋がるオランダ・ベルハルト皇太子が戦後1956年に提唱、実質主役が**米帝王ロックフェラー**の欧米皇室、超財閥当主とその番頭さんたち**超貴族**とその配下筆頭(政界財界首領と次期候補等の指名参加方式、アジア・アフリカ・日本は蚊帳の外)の

外部非公開ビルダバーググループ。実質的な世界政治政策決定機関、典型例一つがEU創設、経済に限らず、戦争も気候変動促進も画策、実は途方もない最終目的が彼らにはアル!!ロックフェラーと配下のブッシュは戦前ナチス成立に裏支援で深く関与して、

国家国民は**優生貴族**の搾取対象、..... 秘密結社 骸骨と骨の基礎世界観

現代米国最大秘密は**ナチス再生国家**でアル事だ。近年の**超軍事警察支配国家化**を注視すれば判る。紙クリップ作戦でナチス幹部多数を戦後密輸入でできたのがCIA、それが戦後の軍産複合体CIAとして**米国裏政府**を形成、CIAにはロックフェラー私費も、即ち米軍CIAの私兵化。現状EUは米国傘下同盟軍と言う事、それは中東での対米協力姿勢を見れば判るだろう。2008年以後の世界経済破綻世界で何が進行してるか?! **富裕格差の一方的拡大**であり、気候変動危機無視世界に起きてる事は、気候被災での大旱魃大洪水での**食糧危機進行**と

生存環境破壊であり、両者統合視点では、世界は一途に生きづらい世界に大変貌してる事だ。これらは決して偶然ではない＝**意図である事!**の認識が決定的である・彼等は世界平和収束を望んでるのでなく、逆の逆さま世界!である事に目覚めなければならない。

*新世界秩序に向けて世界政府が始動しようとしてる。一度彼らが権力に着くと、世界人口80%削減計画に着手できる、その間エリトはハイテクで永久存命を可能する。

Operation ENDGAME(最終ゲーム作戦) .

<http://netattic.net/unbelievable/operation-endgame/>

<http://www.youtube.com/watch?v=x-CrNlilZho>

英国フィリップ殿下のウイルス生まれ変わりで人口削減貢献は有名な話!。ロックフェラは戦前から優生学と人口削減政策を徹底追求してる<ナチスアウシュビッツ殺人工場>。

[3]:現状趨勢はとてつもない異変世界突入、共同危機認識が救済第一歩!!

上記[1][2]が無関係などと思っはいけない。前者は地獄の平民現実であり、後者は天井の支配者現実なのだ。前者不幸は後者＝米国戦争屋<地震兵器>によってもたらされてるのです。この章の目的、ではどうするかだ。敵を知り、己も知るが百戦百勝への道<孫>。最大根拠は世界が今日、**大同団結**できれば、明日にでも**世界革命実現**ができる事だ!

(1)超異変は目前にしてすらも認め難い!、まして机上理論となればいわんや!!!

未来世界は誰も目前にはできない、だがその認識＝**予測必要性**は誰も否定しまい。

それには二つ方法しかない、**机上理論**と**超能力者予言**の二つで後者には根拠がある。

筆者前業務は理論物理学者＝机上理論屋、なれば現場現実一致は誰よりも神経質。

更に一般人向け解説では、ほとんど全能力を傾注する筆頭仕事になる。然るに今世界の人々が全く無知な**問題[2]**＝**異変異常**であり、認め難い事を読者諸氏自身が認識せねばならない。だが今大勢がビルダバーガ会合現地では騒いでるのだ!!

* **小秘密は相応に隠す必要があるが、最大級の秘密は大衆が信じない事で成立する。**

..... マーシャル. マクルーハン

然るに現代世界最大の公然の秘密は気候変動危機＝**北極メタン破滅可能性**。その対処は緊急、かつ世界的規模になる。上記の意味では**極限の地獄＝火炎地球になる**と言え、大衆は信用しなくなるのかもしれない。だがほとんど確実な科学者合意である。

<http://www.realclimate.org/>



(2)福島原発事故調査国会査問会等では東電の**全面撤退**申し出が言及された。

現場では当然ながら恐怖が支配、現場撤退意見が過半数を占めても不思議はない。

だが現場撤退は何を意味するかを社長と会社幹部は想像しなかったのだろうか？

これを聞いた政府責任指導部は拒否、余りにも当然で、地獄戦線突入は犠牲を伴う。だが撤退はそれ以上、長期では桁違い世界規模犠牲になる。己の利害局面だけからの政府指導部批判もあるが、これに関しては誰も異存がない。破綻後の話に似るが、現日本で注意すべきは、内部破綻に見舞われると、必ず内ゲバ、弱い誰かを槍玉に指向し、外なる本質敵を無視する事だ。

(3)**現実共同認識が成立すれば決死決断実行ができる！！**

最大根拠は世界が今日、**大同団結**できれば、明日にでも**世界革命実現**ができる事だ！

(1)(2)に関しては絶望を催すが、超不幸事態に関しての言及が無礼だが、(3)に関しては光明を見た思いだ。今一つの**最後の人間開き直り**が彼らを強くしたのだと思う。

*最終的な敗北を認識しながらも、戦う意思<北欧神話の一つ性質と言われる)。

*勝つと思うな、負けて元々<**柔、美空ひばりの歌謡曲**)。

(4)**致命的な事前想像力の欠如：**

英国、イタリア、仏、そして元凶である米国ですら気候変動危機での言及サイトは多い。

だが日本では最近突っ込んだ議論のサイトが見られなくなったのはどういう事か。

また未来に対する洞察姿勢でも国内欧米の差異を痛感する。およそ国内企業姿勢でも、

過去栄光に固執して、将来の厳しい現実を見てないとの指摘も多いのだ。実質税金駆動のNHKは得意になって過去回顧番組ばかりやる。大新聞大TVに至ってはヨタロウサン(赤間剛氏)の国民愚民化番組に徹底してる事だ(100%それだとばれるので時折、相応の物も)。その本能は既成国体体制護持だけで、国民破滅はどうでもよい、あの戦前と全く同じ**無責任構造**である事だ。日本の情報源産業(マスコミ、教育、大学)腐敗は殆ど瀕死である。

世界大局を見ずして、実は国内大局も決まらない。逆に絵や図=画像を見ないで想像する訓練が重要であろう。人の能力は**現状のぬるま湯**では睡眠中なのであり、しかるべき極限状況では誰でも相応に覚醒するものだ。しかし極限状況を見ては手遅れである。気候危機に限っては、現実異変を目前で認めた時点では手遅れになる。

故に過去も今後も、筆者-諸氏らの仕事は**極限状況仮想提示**する事になるのだろう。

オム脱洗脳を手がけた、あの苦米地英人先生などはこういう問題に詳しいかも知れない。

会社員も経営者も誰もかも夏季休暇等では事前学習調査の上で、徹底した**未来議論会合**を開いて打開策結論を追求したらどうか。

本報告の鍵語は **極限危機共同認識！と決死決断実行！！**

